



「第65回国際数学オリンピック(IMO)イギリス大会」日本代表選手に選ばれた 松本深志高校の狩野慧志さんが教育長を表敬訪問します

松本深志高校2年の狩野慧志さんが、第34回日本数学オリンピック(JMO)で川井杯・金賞(最優秀賞)を獲得し、第65回国際数学オリンピック(IMO)日本代表選考のための合宿を経て、代表選手6名の内の1名に選出されました(2年連続)。

日本代表選手に選ばれた狩野さんが教育長を表敬訪問します。

1 日時及び場所

令和6年6月10日(月)16時から16時30分まで
長野県庁本館8階 審問あっせん室

2 表敬訪問者(敬称略)

【生徒】

狩野 慧志 (かのう さとし) 松本深志高等学校 2年

【引率】

石川 裕之 (いしかわ ひろゆき) 松本深志高等学校 校長

柴 那和 (しば ともかず) 松本深志高等学校 教諭・担任

3 次第

- ・ 参加者紹介
- ・ あいさつ及び大会結果報告(校長)
- ・ 生徒あいさつ
- ・ お祝いの言葉(教育長)
- ・ 懇談及び記念撮影

【第34回日本数学オリンピック(JMO)大会概要】

- ・ 期 日 令和6年1月8日(月)予選 参加者4,611名
令和6年2月11日(日)本選 受賞者25名
令和6年3月 日本代表選考合宿 参加者20名
- ・ 参加者 全国の高校生までの年代。

【第65回国際数学オリンピック(IMO)大会概要】

- ・ 期 日 令和6年7月11日(木)～7月22日(月)
(試験1日目は7月16日(火)、2日目は7月17日(水))
- ・ 場 所 イギリス バース大学
- ・ 参加者 約100の国と地域から1,000人を超える選手・役員たちが参加
- ・ 内 容 4時間半かけて記述式の問題3問、2日間続けて合計6問を解き得点を競う

個人と社会の ウェルビーイングの実現

～一人ひとりの「好き」や「楽しい」、「なぜ」を
とことん追求できる「探究県」長野の学び～

第4次長野県教育振興基本計画 推進中!
— 長野県教育委員会 —



デザイン制作=高校生×鳥、長野県=熊野町=熊野町(おの)
学び応援キャラクター「徳川なび助」の長野県教育委員会信州全県助



(問合せ先)

担当 長野県教育委員会事務局学びの改革支援課
高校教育指導係 山崎、佐久

電 話 026-235-7435 (直通) 内線 4410

F A X 026-235-7495

E-mail kyogaku-koko@pref.nagano.lg.jp